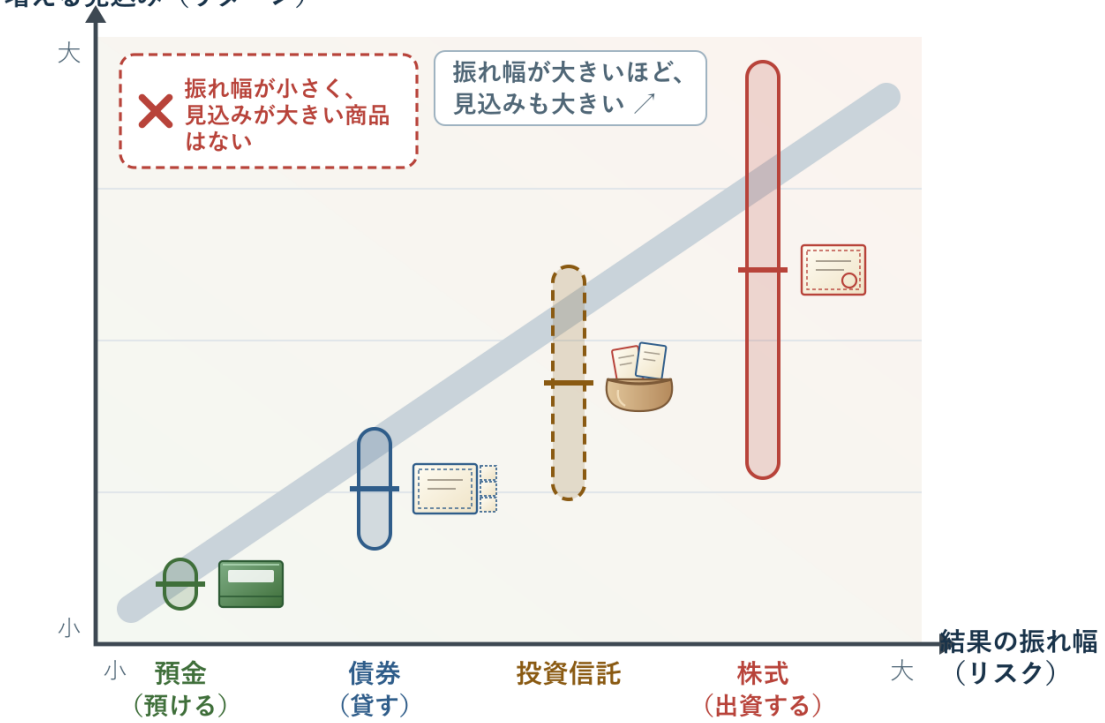
リスクとリターン：お金を預ける・貸す・出資する

金融商品によって、増える見込みと結果の振れ幅はどうちがうか



帯の長さ＝結果の振れ幅、帯の中の線＝見込みの目安（模式で、実際の数値ではない）。
投資信託は、中身の割合で振れ幅が変わる（点線）。

「確実に大きく増える」話に注意

リスクとは、結果がどれだけ振れるか（不確実さ）のこと。振れ幅を小さくすれば、ふつう見込みも小さくなる。振れ幅が小さく見込みが大きい商品はない。

お金が社会の中で働くしくみ



家計　　銀行・証券会社　　企業

家計などのお金が、預金・債券・株式などを通して企業などに回り、事業に使われる。
資本が増え、社会を豊かにすることにつながる。

読み取ろう

・預金・債券・投資信託・株式で、結果の振れ幅と見込みはどうちがうか。
・お金を預ける・貸す・出資することは、社会の中でどんな働きをしているか。　※ どの商品を選ぶべきかは示していない。

※ 模式図。帯の位置と長さは実際の数値ではない。実在の金融機関・商品は表さない。